

「身の内に学ぶ」

～十全の守護を感じながら～

プログラムのねらい

- 自分の身体を通して十全の守護の喜びを感じ取る。
- 病は親神様のお働きに気づくきっかけであることを学ぶ。
- 十全の守護に添う心づかいがあることを知る。

プログラムの構成

			時間配分
《導入（起）》	《おしゃべりタイム》	自己紹介	10分
《気づき（承）》	《本読み》	「こどもおぢばがえり真柱様お話」	5分
		「十全の守護の説き分け」	5分
《学習（転）》	《おしゃべりタイムⅠ》	「気になるところの話をしよう！」	20分
	《おはなし》	親神様のお働きを感じたとき	15分
	《本読み》	「病気が教えてくれるもの」	5分
《結び（結）》	《おしゃべりタイムⅡ》	「気になるところの良かった探し」	20分
	《全体発表》		5分
	《本読み》	「本当のたすかり」（逸話篇 147）	5分
	《おはなし》	まとめ 気になるところもご守護	20分
	《おしゃべりタイム》	講座のふりかえり	20分
			（2時間10分）

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間
各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品

- 自己紹介シート（受講者資料 コピーして使用）
- テーマシート「おしゃべりタイムⅠ、Ⅱ」（ " ）
- 受講者用テキスト“本読み、十全の守護図表、ふりかえりシートを含む”（布教二課にて受渡し）

プログラム進行表


 総合司会コメント






 講師のお話





 本読み






 おしゃべりタイム

  演習


時間	項目	プログラム	進め方とポイント	方向性・ねらい
		<p>開会 親神様、教祖、祖霊様遥拝 オリエンテーション 講師、スタッフ紹介 (総合司会者、班別司会者、会場スタッフ等、ねぎらいの思いを込めて) 本日のテーマの確認 テキスト紹介</p>	<p>○受講者とスタッフで作 り上げる講座である ので協力を呼びかける。 ○講座内容、進め方、終 了時間、トイレ休憩な ども説明する。(タバ コ、携帯電話等の注意) ○講座が始まるまでの待 ち時間に、テキストに 目を通してもらうよう 勧めるとよい。</p>	<p>○全てのスタッ フに対しての 慰労の思いを 込めて紹介。 ○テキスト 1 頁 を手掛かりと してテーマを 確認する。</p>
		<p>「十全の守護」については、皆さんも教会や布教所で拝読されたこともあるのではないのでしょうか？また入門編として「十全の守護 ～幸せの神名を唱えよう～」というプログラムが用意されていますので、そちらを既に受講された方もあるかもしれませんね。 テキストの 1 ページをお開きください。 「神と言うて、どこに神が居ると思うやろ。この身の内離れて神はなし」逸話篇にある教祖のこのお言葉を手掛かりとして、本日は十全の守護について、「身の内に学ぶ」というテーマで私たちの身体にいただいている親神様のご守護について考えてみましょう。</p>		
		<p>それでは最初に、自己紹介シートを使って各班で自己紹介をしてください。班別司会者の方、よろしくお願ひします。時間は 10 分です。</p>		

10分		<p>〈おしゃべりタイム〉 ・自己紹介</p>	<p>○自己紹介シートを使う。できるだけ簡潔に書くよう促す。 ○班別司会者が、まず最初に例として自己紹介し、雰囲気を和らげる。 ○できれば十全の守護に当てはめやすいものを例として挙げる。</p>	<p>○班の雰囲気を和ませる。 ○自分の身体の再チェック。 ○気になるところは内容として出さない。</p>
		<p>ありがとうございました。 普段なかなか意識しない自分の身体ですが、今のおしゃべりタイムでは皆さん存分にご自分の身体のよいところをアピールされていましたね。 それではテキストの3ページを開いてください。本読み1の部分を全員で声を出して読んでみましょう。</p>		
5分		<p>〈本読み〉 ・テキスト1 P3 こどもおちばがえり真柱様お話</p>		<p>○ゆっくり読むように促す。 ○総合司会者のリードで。</p>
		<p>ありがとうございました。 続いて、十全の守護の説き分けを読んでみましょう。 テキストの5ページを開いてください。これは各班ごとに行います。 十全の守護の最初の2行を全員で読んだ後、続いて上段のご守護の説き分けを、一人ずつ順番に読んでいただきます。 それでは各班ごとにお問い合わせ致します。</p>		
5分		<p>〈本読み〉 ・十全の守護 P5～P9</p>	<p>○下の段の、「身の内のお働き」、「守護に添う心づかい」の部分は読まない。(講師に講話の中で取り上げてもらう)</p>	<p>○神名と守護の確認。 ○一人ずつ読んでもらうことで、より印象づける。</p>

		<p>(大きな声でのご協力) ありがとうございました。</p> <p>先程の自己紹介では、皆さんの自分の身体の気に入っているところ、自信のあるところを紹介していただきましたが、今度はご自身の身体で気になるところ、不自由を感じているところを話していただきます。</p> <p>気になるところと聞くと、しみ、しわ、腹回りなど直ぐに思い浮かべる方もあると思いますが、ここでは容姿というよりは、病気やけがなどの経験から、お話をさせていただきます。</p>		
20分		<p>〈おしゃべりタイムI〉</p> <p>・気になるところの話をしよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○おしゃべりタイムIのテーマシートを使う。 ○ここでも班別司会者がまず最初に例として話す。簡潔に話すことを心がける。 ○おしゃべりタイムIIの「良かった探し」まで話の内容が踏み込まないよう気をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全員が発言できるように時間配分に気を付ける。 ○できるだけ今の話題を出してもらおう。 ○身体的特徴以外で。 ○自慢大会の裏には親神様のご守護に気づくきっかけがある。
		<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さん意外と気になるところ、困ったところをお持ちなんですね、何だかちょっと安心しました。</p> <p>先程読んだ十全の守護の説き分けと、今出し合っていたいただいた気になるところ、困ったところとはどう繋がっているのでしょうか？</p> <p>それでは講師のお話を聞きましょう。</p>		
15分		<p>〈おはなし〉</p> <p>・親神様のお働きを感じたとき</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○プログラムの手引き参照。

		<p>自分の身体を通して、親神様の十全の守護を感じることの大切さを聞かせていただきました。確かに病気やけがによってそのことに気づくことができるということはありますよね。</p> <p>それではテキストの10ページを開いてください。本読み2の部分を全員で声を出して読んでみましょう。</p>		
5分		<p>〈本読み〉 「病気が教えてくれるもの」P10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ゆっくり読むように促す。 ○総合司会者のリードで。 	
		<p>ありがとうございました。</p> <p>病気やけがは私たちにとって都合の悪いことばかりのものでもないようですね。</p> <p>先程、気になる部分をあげていただきましたが、ここで「気になるところの良かった探し」と題して、目線を変えることによって、病気やけがの経験を通して何か良かったと感ずることがないか、皆さんで探してみましよう。</p> <p>後の全体発表でいくつかの班に話を伺います。あっと驚く良かった話は出てくるでしょうか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○話しやすくするため、総合司会者から、気軽な内容の経験談を語るのもよい。
20分		<p>〈おしゃべりタイムⅡ〉 ・気になるところの良かった探し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○おしゃべりタイムⅡのテーマシートを使う。 ○自分にとって良かったことを考えてみる。 ○班の皆で良かった探しをする。 →班別司会者の聞き出し方の例として、「病気やけが等、喜びにくい状況の中で、どんな良かったことに気づきましたか？」 	<ul style="list-style-type: none"> ○気になるところがあるものご守護。 ○もちろん健康であることが一番のご守護である。
		<p>ありがとうございました。</p> <p>あっと驚く良かった話が出てきたでしょうか？</p> <p>それでは、一つ二つ、印象深かったものを発表していただきましよう。</p>		

5分		〈全体発表〉	○重複を避け、簡潔に。 ○全ての班に発表しても らう必要は無い。おし ゃべりタイムの進行が うまくいかなかった場 合など、他の班の意見 を聞くことで、その内 容を補う。	○全体での新た な気づき。	
		ありがとうございました。それでは次にテキストの10ページを開いてください。 下の段、本読み3の部分を全員で声を出して読んでみましょう。			
5分		〈本読み〉 逸話篇 147 P10 「本当のたすかり」		○ゆっくりと内 容を考えなが ら読み進める。	
		ありがとうございました。 それでは講師の先生からまとめのお話をさせていただきます。			
20分		〈おはなし〉 ・まとめのお話		○プログラムの 手引き参照。	
		私たちはついその場しのぎのたすかりを願ってしまいます が、気になるところ、不自由を感じているところは、実は親 神様が私達を本当にたすけてやろうと、一番心を砕かれています ところ、ご苦心下されているところだと考えることができますね。 今日の講座をふりかえって、今の気持ちを素直に書いてみて ください。 このふりかえり用紙はご提出いただくものではないので、お 気軽に書いてください。			○総合司会者か ら、簡単に今日 のプログラムの 流れをふり かえる。
20分		〈おしゃべりタイム〉 ・講座のふりかえり ※ふりかえりシートを使う。 ※記入時間として2~3分取 る。	○身の内にいただいでい るご守護に対し、感謝 の心を持つと共に、 銘々、ご守護に添う心 づかいを心がけること を目標として展開して いただきたい。	○特定の人への 身上論しの時 間にならない よう配慮する。	

		<p>ありがとうございました。今日の講座「身の内に学ぶ ～十全の守護を感じながら～」はいかがでしたか？</p> <p>今日お配りしたテキストは、どうぞおみやげにお持ち帰りください。</p> <p>そのテキストの中には、時間の関係で今日の講座の中では取り上げられなかったことも含めて、親神様の身の内のご守護のまとめが載っています。</p> <p>ぜひ参考にしていただき、明日からの皆さんの生活が、十全の守護を感じながら、感謝に満ちてより生き生きとした素敵なものになるよう願って、本日はこれで終了いたします。</p> <p>最後に一つお知らせがございます。今日、皆さんと共に勉強させていただいた内容以外にも、もっとお道の教理について学びたいという方のために、おぢばでは「三日講習会」というものが開催されています。詳しくは、所属の会長さんにご相談ください。</p> <p>本日は、これで終了いたします。ありがとうございました。</p>		
		<p>閉会</p> <p>親神様、教祖、祖霊様遥拝</p>		

《自己紹介シート》

私は _____ から来ました（出身地や教会名）。

_____ です。

私の身体で気に入っている、自信のあるところは（できれば容姿以外で）

_____ です。

理由は _____ だからです。

※簡潔にお書きください。

----- キリトリ -----

《自己紹介シート》

私は _____ から来ました（出身地や教会名）。

_____ です。

私の身体で気に入っている、自信のあるところは（できれば容姿以外で）

_____ です。

理由は _____ だからです。

※簡潔にお書きください。

《テーマシート おしゃべりタイム I》 ～気になるところの話をしよう～

自分の身体で気になるところ、病気やけがで不自由を感じているところは

_____ です。

理由は

_____ だからです。

※ 「肩こり一つさえない」と言う幸せな方は、家族や身近な人のことでも結構です。

《テーマシート おしゃべりタイム II》 ～気になるところの良かった探し～

先ほど挙げた、自分の身体で気になるところ、不自由を感じているところの経験を通して、良かったことを探してみましよう。

- 例)
- ・自分の周りの人が、やさしくしてくれた (奥さん 孫 友達など)
 - ・治療で行った病院で、親しい人ができた (看護婦さんとの出会い おしゃべり仲間など)
 - ・他にあった気になるところが解消した (ダイエットができた 久しぶりの休養がとれたなど)
 - ・自分自身が成長した (謙虚になれた 人の傷みが分かるようになったなど)

※ できれば一つだけでなく、班内の皆で協力して、たくさん見つけてください。